



ないとう きみよし／1931年生まれ。  
成人した一男一女の父親。聖書神  
学舎卒。センド宣教団協力牧師。  
長野県佐久市在住。

## ○二つの注意点

応援を求める時や頼み事をする

たとえば、コーヒーを自分で入れるなど、どんな人だってできるのではありませんか。一般に、男性は何かに関心を持ち始めるところを究めようとする傾向があります。そのうちに「朝のコーヒーは主人にお任せ」というようになるかもしれません。インスタント食品にお湯を沸かして注ぐだけでも最初は良いのです。洗濯物にちょっと手を触れるようなことを頼んでみてはいかがでしょう。男性のやる気を引き出してあげるようにしてみてください。

か。そして、生活設計のバランスを考えながら外出なさるのです。  
ご主人には、留守番を頼むのです。あるいは、彼だって何か計画を立てたり、考えておられる可能性もありますよ。二人で同じプログラムに参加なさるのなら、更に良いでしよう。

外出なさるとすれば、必ず食事の時間にかかることがあります。ご主人は何もお作りにならないでしようから、いくつか食卓に用意しておいてあげてください。仮に、ご主人が「何もしない」とか「できない」とかおっしゃるとても、ある程度下準備しておいてあげれば、できることが何かあります。

**A**ここ数年のうちに、定年を迎える男性の方が多いと聞いています。このような相談をしたの方は、きっと大勢おられるのでないでしょうか。

**Q** まもなく主人の現役引退を迎えます。  
私は、ずっと家庭で過ごしてきました。

仕事一筋で過ごして来た主人と毎日顔をつき合わせる生活に、不安があります。私ども夫婦に何かアドバイスをいただけないでしょうか？  
実は、こういう話題を主人に向けても、全く乗って来ないので。

く、むしろ奥様のほうから悩みを訴えられることのほうが多いのです。男性にお答えするのが直接的で効果もすぐ現れると思うのですが、今回のように奥様にお答えして、その影響がご主人に及ぶのを願う方法ですと間接的ですから回りくどくて時間がかかります。けれど、今回はやむをえずそういう形でお答えすることになります。

りとは限りません。男性も読まれると思いますので、男性として私の考えていることを申し上げてみることにいたします。

シビなどもファイルしています。  
質問者によりますと、ご主人は  
定年退職を間近にしておられます  
が、全然何も考えておられないご  
様子です。それで、いくつかの提  
案を申し上げて答えとすることに  
いたします。

○最後まで添い遂げる決心で  
まず、妻としてご夫人に理解して  
いただきたいことがあります。  
あなたの夫には、敗戦後の経済復  
興社会でしゃにむに働くがざるを得  
なかつたという背景があるので、  
そして、聖書が教えている男性や  
女性の役割とか家庭の責任という  
ようなことについては、ほとんど  
何も教えられてはいらつしゃらな  
かつたと言つてよいでしよう。そ  
のことを理解してあげてください。  
賛成したり同意したりする必要  
はありません。よくないことで、  
改めるべきことなのですが、「あ  
あ、そうなのか」と一応理解して  
おいてください。そして、それゆ  
えに大変かもしれません、それ  
でもこれから年月、一生添い遂  
げに行くのだと心に決めていただ  
きたいのです。

りとは限りません。男性も読まれると思いますので、男性として私の考えていることを申し上げてみることにいたします。

仕事一途に生きてきたために、会社から離れたとたん何もすることができないという方が、確かにいらっしゃいます。「楽しみはテレビを見る」と、美味しいものを食べ歩くこと、ほかにやることはないと、いうのでは、本当に困ります。同じ男性として情けない気持ちがします。

ところで、「閑白宣言」という歌がありますね。の中に「オレより先に死んではいけない」という歌詞があります。楽しく歌うべき歌に正面切って目くじらを立てることもないでしょうが、私はむしろ、そうであつてはならないと思うのです。夫も妻も、「自分が先に逝く」とは思わないほうがよろしい。そうではなくて、「自分は一人残るのだ、相手ができるだけ介抱するのだ」と思つべきです。平均年齢を根拠にして考える必要はありません。私は、自分が一人残される時もしつかり生きて行こうと思っています。もちろん、すべては主に委ねますけれど、心の準備はそうあるべきでしよう。できるだけまごまごしないように、今から考えておきます。台所に慣れたり、家のことにもできるだけ手

シビなどもファイルしています。  
質問者によりますと、ご主人は定年退職を間近にしておられます  
が、全然何も考えておられないご様子です。それで、いくつかの提案を申し上げて答えることにいたします。

むしろ、感謝しなさい

とをどうぞ忘れないでください。相手の注意点が二つあります。まずは大人であって子どものではないことです。社会では一つの責任を担い果たしてきました人なのです。いくら親しいといっても、まずは命令口調を使わないでください。そうされると、せっかくのやる気がどこかに飛んで行ってしまいます。

もう一つは、彼がしたことがあり上手ではなく成功しなかつた場合でも、愚痴や不平やつぶやきは絶対に言わないことです。次の聖書のことばを贈ります。

「みだらなことや、愚かな話や、下品な冗談を避けなさい。そのようなことは良くないことです。むしろ、感謝しなさい」

○最後まで添い遂げる決心で  
まず、妻としてご夫人に理解して  
いただきたいことがあります。  
あなたの夫には、敗戦後の経済復  
興社会でしゃにむに働くがざるを得  
なかつたという背景があるので、  
そして、聖書が教えている男性や  
女性の役割とか家庭の責任という  
ようなことについては、ほとんど  
何も教えてはいらつしゃらなか  
つたと言つてよいでしよう。そ  
のことを理解してあげてください。  
賛成したり同意したりする必要  
はありません。よくないことで、  
改めるべきことなのですが、「あ  
あ、そうなのか」と一応理解して  
おいてください。そして、それゆ  
えに大変かもしれません、それ  
でもこれから年月、一生添い遂  
げに行くのだと心に決めていただ  
きたいのです。

ペンシルベニヤの娘

ある時その方を訪問したら、何とまあ、そのご婦人は屋根のベンキ塗りをしておられるではありませんか。ご主人は何やら、家の中でバツが悪そうにしておられました。でも小さい声で私にささやくように言われたのです。

「家内はね、私のやることは何でも気に入らないんですよ」

何かボタンのかけ違いのようなものがあるのです。

「むしろ感謝しない」この教えは、男性と女性の心をきよめるばかりか、夫婦の生活を潤す秘密の宝箱の鍵かもしれません。いやきっとそうです。

りとは限りません。男性も読まれると思いますので、男性として私の考えていることを申し上げてみることにいたします。

仕事一途に生きてきたために、会社から離れたとたん何もすることができないという方が、確かにおります。「楽しみはテレビを見ること、美味しいものを食べ歩くこと、ほかにやることはなし」というのでは、本当に困ります。同じ男性として情けない気持ちがします。

ところで、「関白宣言」という歌がありますね。その中に「オレより先に死んではいけない」という歌詞があります。楽しく歌うべき歌に正面切って目くじらを立てることもないでしょ? が、私はむしろ、そうであつてはならないと思うのです。夫も妻も、「自分が先に逝く」とは思わないほうがよろしい。そうではなくて、「自分は一人残るのだ、相手ができるだけ介抱するのだ」と思うべきです。平均年齢を根拠にして考える必要はありません。私は、自分が一人残される時もしっかり生きて行こうと思っています。もちろん、すべては王に委ねますけれど、心の準備はそなへるべきでしょ? できるだけまごまごしないように、今から考えていきます。台所に慣れたり、家のことにできるだけ手

もでき

○まとめ

男性が定年を迎える時、それは女性（妻）にとっても大きな転機変化を経験する時だと思います。お互いに新しい変身を遂げる時期であります。男性が自覚して努力してください。されば解決は早いですが、少し回り道でも、女性のほうからもできることをしていただきたい

息子の孫たちも必ず「ありがとうございます」と言ってくれます。宣教師は、短いスピーチの後、「サンキュー」としめくくります。「ありがとうございます」と短く気楽に言える文化を作り出そうではありませんか。

比べたら少ないですね。」  
言うほうだと思うのですが、娘に

シビなどもファイルしています。  
質問者によりますと、ご主人は定年退職を間近にしておられます  
が、全然何も考えておられないご様子です。それで、いくつかの提案を申し上げて答えることにいたします。

質問募集

編集部では、皆さまから  
のご意見やご感想をお待ち  
しています。  
また、内藤師への、家庭

生活に関するご質問やご相談もお寄せください。  
[home.office@ffj.gr.jp](mailto:home.office@ffj.gr.jp)

TEL&FAX045-933-3875